

就任のごあいさつ



鞍手町長 徳島眞次

徳島町政 継続は力なり

このたびの町長選挙におきまして、無投票当選という形で、引き続き二期目の町政の舵取りを務めさせていただくこととなりました。改めてその責任の重大さに身の引き締まる思いであるとともに、町民の皆様から寄せられた信頼と期待をしつかりと受け止め、全力で職務に取り組んでまいれる所存であります。

これまでの4年間を顧みますと、私は平成25年の就任時に「魅力ある住みたい町」「老若男女すべての人が笑顔で暮らせる町」を目標に、いったん決断すれば貫徹していく粘り強い行動力をもって頑張っていくことを約束し、各種施策に取り組んでまいりました。

結果として、「鞍手中学校の開校」、「北九鞍手夢大橋の開通」、「中山西区用地等に4社の企業誘致」及び「中学3年生までの医療費無料化の拡大」等多くの分野で一定の成果を達成することができ、活力あるまちづくりへ向けての基礎を築くことができましたと思っております。まだまだ多くの課題が山積しておりますが、私の町政に対する情熱は、4年前に就任した時といささかも変わることはありません。

二期目となります。これからの4年間は、「第5次鞍手町総合計画」を基本にして、将来像に「新た

な力で躍動するまち くらて」、キャッチフレーズに「未来につなぐ つながる 希望の芽」を掲げ、次の世代が夢と希望を抱けるようなまちづくりを進めてまいります。

その一つとして地方独立行政法人くらて病院の移転建替えに向け本格的に取り組んでまいります。さらに、町内の主要道路の整備も進めてまいります。平成27年3月に開通した北九鞍手夢大橋への暫定的な接続道路は、福岡県の事業として平成29年度から直進性のある本来の計画道路へと改修されることとなっております。また、鞍手インターチェンジへのアクセス道路の延伸も着実に進められております。

このように、本町を取り巻く環境は今後大きく変化してまいります。これからの4年間は、将来の鞍手町を形づくる上で大変重要な時期であると考えております。

結びに、鞍手町の更なる発展のため、町民の皆様と共に知恵と力を出し合いながら、「鞍手町に住んでよかった。これからは住み続けたい。」と実感できるまちづくりに邁進してまいりますので、なご一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。二期目の就任のご挨拶とさせていただきます。

魅力ある住みたい町へ

老若男女すべての人が笑顔で暮らせる町へ